



おのがみ公民館だより

編集発行：小野上公民館
渋川市村上3756-3 TEL59-7027

令和2年 4月号 No. 127

小野上地区
人口・世帯数
(2年3月末現在)
男 730人
女 760人
男女計 1,490人
世帯数 585

公民館からのお知らせ

公民館講座等中止・延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、渋川市内の公民館は利用者の方に対して利用自粛をよびかけており、予定していた講座等を下記のとおり中止又は延期とさせていただきます。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

中止する事業

事業名	実施予定日
美味しい家庭料理教室	4月28日(火)
けいらくビクス教室	4月23日(木) 4月30日(木)
若返り学級	5月12日(火)

延期する事業

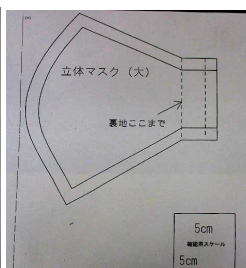
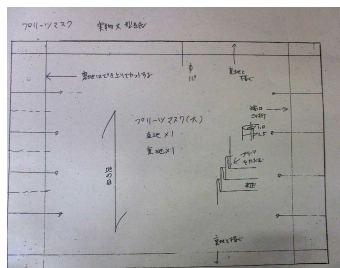
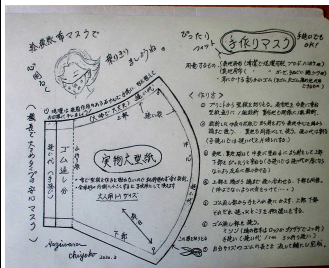
事業名	実施予定日
小野上地区ハイキング	5月17日(日)

※実施は秋の予定です。



なお公民館図書室とフリースペースは利用可能となっており施設の消毒、職員のマスク着用など感染症対策を行っています。

手作りマスクに挑戦しませんか？



上毛新聞に掲載されたマスクの型紙の他にも立体マスク、プリーツマスクなど数種類があります。

型紙を希望する方は、公民館へお越しください。

ボランティアの方がマスクを手作りします

マスクを寄付してくださった方が3日間ボランティアでマスク作りのため来てくれます。手作りマスクに興味のある方は、一緒に手作りマスクを作ることができます。

布等材料は寄付していただいたものがありますので、多少お譲り出来ます。



マスクをお譲りします

また、ボランティアの方が作成したマスクが多少ありますので、必要な方は公民館にご連絡ください。

[実施日]

4月20日, 21日
23日

[時間]

午後2時~4時

[会場]

小野上公民館

手作りマスクを寄付しました

現在、全国的なマスク不足になっており、子ども達が使用するマスクが入手困難となっています。この状況に危機感を感じた小野上地区の学校支援ボランティアなどの皆様が手作りマスクを小野上小学校とかに石こども園に寄付しました。有志の皆様からの心のこもったマスクを受取り、小学校とこども園にとでも喜んでいただきました。



小野上小学校



かに石こども園

令和2年度もよろしくお祈いします

小野上公民館は、人事異動に伴い須田 紀子館長(平成29年度館長)と藤井 賢治主任行政専門員(平成30年度小野上行政センター所長)を迎え、1人増員となり6人体制となりました。

今年度も今まで以上に、皆様が集い、学び、結びつく場として、愛され活気ある小野上公民館を目標に、職員一同精一杯努めて参りますので、ご協力の程よろしくお祈いいたします。

今、新型コロナウイルス感染拡大で大変な状況ですが、皆で助け合い、この時期を乗り越え、終息後は皆様が元気に公民館に来ていただければと思います。

※何か困っていることで、公民館にお手伝い出来ることがあればご連絡ください。



令和2年度の職員です
(感染症対策のためマスクを着用しています)

2年間お世話になりました

人事異動に伴い、平成30年度、令和元年度の小野上公民館長を務めた井上 一郎館長が赤城行政センター所長へ異動となりました。2年間ありがとうございました。



図書室・フリースペースは利用できます

感染拡大防止のため、自宅にいる機会が増え読書をする時間も増えていると思います。図書室では定期的な換気等を行い、密閉・密集・密接する空間、いわゆる「三密」とならない環境を整えています。

たくさん本が配架されているので、本を借りたいけれど人混みに行けない時などは地域にも図書室があることを心に留めてください。

また、ご来館の際は、マスク着用等の感染予防にご協力ください。

なお、新型コロナウイルスの感染が心配で図書を借りに行けない方がいれば、公民館へご相談ください。



図書室からのお知らせ

児童書

『えんそくのおばけずかん おいてけバスカイド』



それぞれのおばけが、どんなふう怖いのか。そうならないためには、どうすればだいじょうぶなのかを、ユーモラスな短いお話で紹介する、図鑑という名の童話です。今回はたのしいえんそくの日にてでてるおばけのおはなしです。

『そらまめかぞくのピクニック』



6歳を前に病気を発症し、12歳という短い人生を生きた森上翔華ちゃん。病院でその姿を見守っていた人たちが、翔華ちゃんの望みを形にしたい、そして、多くの方に翔華ちゃんの温かい気持ちや勇気、希望を届けたいという思いからこの絵本を企画。

一般書



『茶聖』

「茶の湯」という安土桃山時代を代表する一大文化を完成させ、天下人・豊臣秀吉の側近くに仕えた千利休。

利休は何を目指し、何を企んでいたのか。秀吉とはいかなる関係で、いかなる確執が生まれていったのか。



『三兄弟の僕らは』



交通事故で両親を失った稲野朗・昭・幸の三兄弟。彼らを助けるべく、ほとんど面識のなかった母方の祖母が家にやってきた。その暮らしの中で、今まで気づかなかった家族の裏側を知っていく。

三兄弟の成長と、家族の絆を描いた、感涙必至のハートフルストーリー。